

門上技術開発研究所(所長:門上洋一 ワイオミング大学分子生物学教室 客員教授)は、北海道(函館市)に所在し、主に環境浄化をテーマにした研究・技術開発と、その事業化に向けたアイデアの創出、企業へのアドバイス等の取り組みを行う研究機関です。

様々な企業や公益団体との提携により、多くの技術開発実績を有し、特に水処理関連の案件では、ナックのマイクロ・ナノバブル発生装置 Foamestをご利用頂き、省エネルギーに優れた、効率的な酸素供給技術の開発にお役立て頂いております。

ホタテの養殖



ホタテの養殖は函館を代表する地場産業です。稚貝への酸素供給にFP32-300のご導入を頂きました。

ホタテ生育の向上にマイクロ・ナノバブルが寄与致しております。



コラムFP32-300

工場排水処理



北海道は酪農が盛んです。BOD値が高い乳製品工場の排水処理槽において、マイクロ・ナノバブルを利用した溶存酸素向上の技術研究が進んでおります。

効果検証用にFP52-600をご導入頂きました。



コラムFP52-600

門上技術開発研究所では、上記以外に、ろ過バクテリアを利用した活魚輸送の新技术開発、河川・湖沼の水質浄化、二酸化炭素供給による栽培植物の活性化等の最先端の研究をされております。

ナックはマイクロ・ナノバブル発生装置の製造メーカーとして、今後、これらのテーマに最適な商品開発のご協力を推進致して参ります。